

第2節 石塔について

今回の調査では、塚1周辺に集積された宝篋印塔と多くの組合せ式五輪塔を確認した。塚1に直接伴う遺物の出土がなく、時期を判断する材料としても石塔の評価が必要なため、その特徴や年代的な位置付けについて形態や法量に注目して検討を行う。

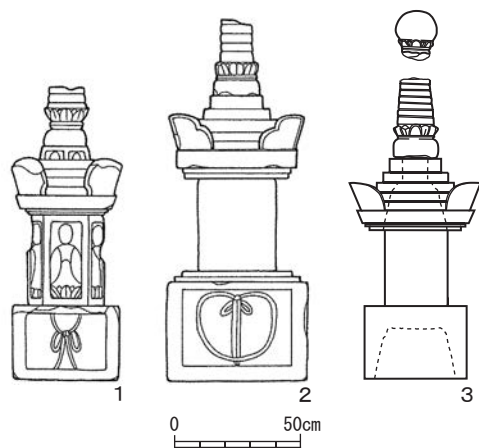
宝篋印塔

今回、確認した宝篋印塔の中で調査時に塚1南側に配置されていた宝篋印塔S1～4は、本来は塚1に伴っていた可能性がある。この宝篋印塔は、相輪下部の請花と伏鉢の間に巡る1条の突帯、笠部が軒上5段の段形で斜めに切られる軒端部、基礎に段形が無いなどの特徴をもつことやその石材⁽¹⁾から、斉藤孝氏によって明らかにされた「蒜山式宝篋印塔」の一例として捉えられる⁽²⁾。蒜山式宝篋印塔は、斉藤氏の検討によって塔身が六角石幢になる六角石幢型（新見市神応寺塔⁽³⁾、真庭市道目木塔など）、塔身は一般的な直方体で基礎に水引き飾りをもつ蒜山系通常型（真庭市中井川塔、真庭市延助塔など）、古相でも笠部の隅飾り突起が外傾し、軒端部は垂直でなく斜めに切られ、基礎上面に段形が無いといった特徴をもつ蒜山固有型（真庭市倉尾塔など）などに分けられ⁽⁴⁾、それぞれの特徴や分布が示されている。また近年では、池上悟氏による実測調査及び考察があり⁽⁵⁾、特殊型式の石塔⁽⁶⁾であることや相輪の請花と伏鉢間に巡る1条の突帯、基礎の水引き飾りなどについて、隣接する鳥取県西部の伯耆地方との関

連性が指摘されている。初和古墓の宝篋印塔は、斉藤氏の言う蒜山固有型の特徴を多く有する。年代については、池上氏が15世紀前半頃を想定する延助塔に比べ、笠部の隅飾り突起が外へ大きく開く形態や、塔身及び基礎は素面で全体的に簡略化するなど、さらに新しい様相をもつことから16世紀でも後半が想定される。蒜山式宝篋印塔の分布について、これまで確認されているものを中心に第18図に示した。六角石幢型のものは、既知の美咲町金堀塔、久米南町草木塔に加え、赤磐市西勢実塔・戸津野塔⁽⁷⁾のような類例もあり、旭川水系を軸として南北に広い範囲で分布が認められる。

五輪塔

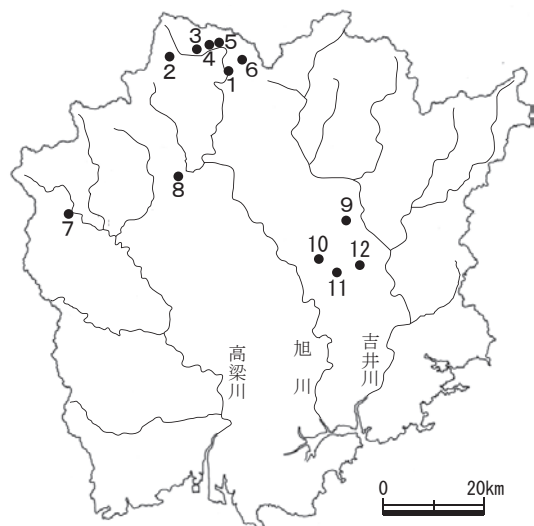
確認された組合せ式五輪塔の法量を分析するため、部位別の計測値をもとにグラフ化して第19図に示した⁽⁸⁾。空風輪は高さ17.0～21.6cm、幅13.5～16.2cmの



1 神応寺塔 2 延助塔 3 初和古墓

(1・2は註5文献から転載)

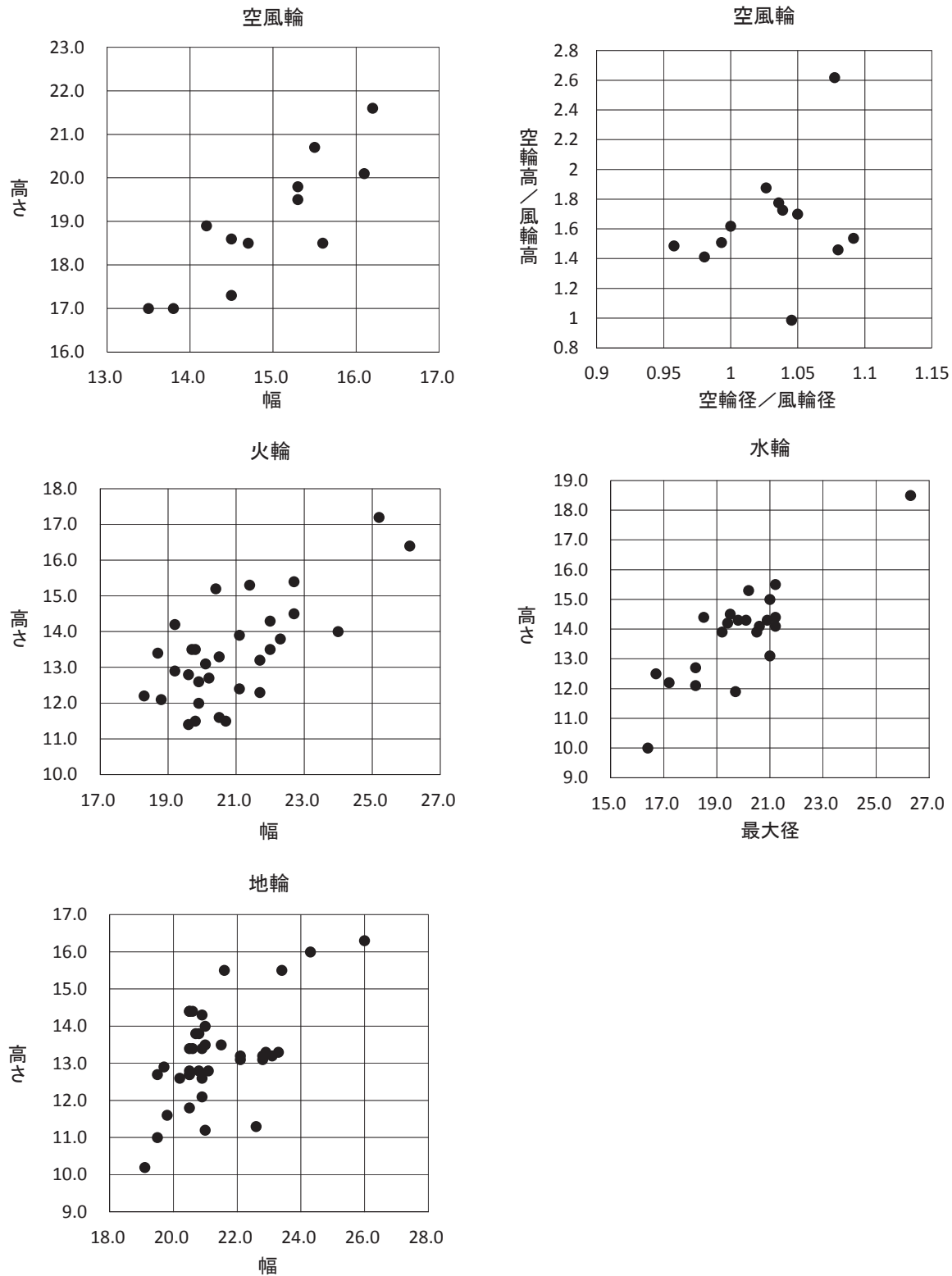
第17図 蒜山式宝篋印塔実測図 (1/30)



1 初和古墓 2 延助塔 3 中井川塔 4 飯守塔
5 道目木塔 6 本興寺塔 7 神応寺塔 8 倉尾塔
9 金堀塔 10 草木塔 11 西勢実塔 12 戸津野塔

第18図 蒜山式宝篋印塔分布図 (1/1,500,000)

間にまとまる。空輪と風輪の径及び高さの比率を比較したところ、空輪径：風輪径は0.96～1.09：1の間に集まり径はほぼ同じだが、空輪高：風輪高は1.41～1.88：1の間に集中することから、重心を空輪にしているものが多数を占めることがわかる。火輪は高さ11.4～15.4cm、幅18.3～22.7cmの間にまとまりがある。水輪は高さ11.9～15.5cm、最大径16.7～21.2cmに範囲に集中し、扁平な形態のものになる。地輪は高さ10.2～14.4cm、幅19.1～23.3cmの範囲にまとまり、形態は横長の直方体になる。蒜山



第19図 五輪塔部位別法量分布

地方において五輪塔の法量分析を行った事例は見られず比較する資料がないが、蒜山地方の五輪塔は伯耆地方との関連性が知られており⁽⁹⁾、安山岩系の石材を使用するなど共通点もある。伯耆地方の五輪塔については、中森祥氏が形態の変化がわかりやすい空風輪及び火輪の法量について分析を行い、時期が下るにつれ小型化していく傾向が明らかになっている⁽¹⁰⁾。16世紀代の鳥取県南部町福成早里遺跡⁽¹¹⁾の五輪塔は、中森氏の分析によると空風輪が高さ20.5～24.5cm、幅15.0～17.5cm、火輪が高さ13.0～14.0cm、幅22.0～30.0cmの範囲に集中している。これらの成果を参考にすると、初和古墓のものは、福成早里遺跡よりさらに小型化した範囲に集中するので、16世紀でも後半に属するものが大半を占めると考えられる。なお、火・水・地輪で分布域が大きく外れる一群はS19～21などが該当するが、形態的にも明らかに新しい様相をもち、17世紀初頭に下る資料であろう。

まとめ

初和古墓で確認された宝篋印塔及び五輪塔の年代は、16世紀後半～17世紀初頭に収まり、ほとんどが16世紀後半のものと考えられる。これらの石塔に時期差はあまりなく、塚1の築造を契機として、その周辺において比較的短期間に造立されたものが、最終的に集積されたと考えられる。蒜山式宝篋印塔は初和古墓のように大型のものがよく見られるが、蒜山地方では大字（村）単位毎に存在している。多くの費用を要する大型宝篋印塔の造立者は、通常であれば有力領主層が想定されるが、蒜山地方においてはその分布数の多さから村落土豪層による造立が考えられる。また、五輪塔については小型化したものが大量に見られることから、有力農民層による造立が想定される⁽¹²⁾。（石田）

註

- (1) 初和古墓出土の宝篋印塔と五輪塔については、大部分が岩石学的には石英安山岩質凝灰岩との鑑定結果を得た。これまで安山岩とされてきた蒜山地方でよく見られる石塔や県内で確認されている蒜山式宝篋印塔の石材は、管見の限り初和古墓の石塔と同一のものである。
- (2) 齊藤 孝「仮称「蒜山式」宝篋印塔の存在」『網干善教先生華甲記念考古學論集』網干善教先生華甲記念会 1988
- (3) 新見市神応寺塔は蒜山式宝篋印塔で唯一、康応二（1390）年の紀年銘を塔身にもつ。
- (4) 相輪下部の請花と伏鉢の間に巡る1条の突帯や笠部の軒上5段の段形などは、蒜山式宝篋印塔に広く共通する特徴である。
- (5) 池上 悟「岡山県北部所在の中世石塔」『考古学論究』第16号 立正大学考古学会 2014
- (6) 伯耆地方においては宝篋印塔の塔身を宝塔に代える「赤碕塔」が知られている。
川勝政太郎「赤碕塔」『考古学雑誌』第25巻第7号 考古学会 1935
- (7) 赤磐市教育委員会社会教育課「ふるさとの史跡探訪」46『広報あかいわ』平成21年2月号 2009
- (8) 五輪塔の各部位別の計測値の中で、高さや幅、最大径に欠損がないものを選択してグラフ化した。
- (9) 巖津政右衛門『岡山の石造美術』岡山文庫55 日本文教出版株式会社 1973
蒜山文化財保護委員会『蒜山の文化財』第二集 石造物 蒜山教育事務組合教育委員会 1985
- (10) 中森 祥「出土した五輪塔について」『古市遺跡群3』鳥取県教育文化財団調査報告書78（財）鳥取県教育文化財団 鳥取県埋蔵文化財センター 2002
- (11) 北浦弘人ほか『福成早里遺跡』鳥取県教育文化財団調査報告書57（財）鳥取県教育文化財団 鳥取県埋蔵文化財センター 1998
- (12) 蒜山郷土博物館 前原茂雄氏、真庭市教育委員会 森俊弘氏の御教示による。

表2 五輪塔計測表

凡例

- ・石塔のうち、宝篋印塔S1～5とS6の宝珠、五輪塔S11～22は岡山県古代吉備文化財センターで保管し、それ以外は蒜山中福田の福王寺で保管している。
- ・計測位置は大村中世墓での計測位置に準拠しているが、大村中世墓の五輪塔と形状が異なる部分があり、計測を省略したところがある。各部位別の計測位置は24ページの略図に示した。
「宮地遺跡 大木遺跡 大木古墳群 粧田山城跡 大村遺跡ほか」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』 113 岡山県教育委員会 1996年
- ・数値の単位はcmである。
- ・*(17.2)のように*()で示した数値は概数である。
- ・石材は、A：石英安山岩質凝灰岩 B：安山岩である。宝篋印塔S2、五輪塔S11、S13、S19は岡山大学鈴木茂之教授による鑑定で、それ以外は調査員の判断による。
- ・出土地点は、南1=南集積1、東1=東集積1のように集積を略している。

空風輪

掲載 番号	調査 時番 号	a	b	c	d	e	h	i	j	k	l	出土 地点	石材	備考
S11	212	17.0	8.9	8.1	13.5	11.6	5.3	12.5	10.8	4.2	2.0	東1	A	空輪少し欠
S15	35	19.5	12.3	7.7	15.3	12.6	4.0	14.2	10.6	5.6	3.0	南1	A	空輪一部欠損
S22	22	18.5	10.7	7.8	14.7	11.8	6.4	14.0	10.5	5.2	1.5	南1	A	
S24	3	18.5	10.5	8.0	15.6	17.2	5.7	15.2	11.4	5.2	2.4	南1	A	ほぼ完形
S25	9	*(17.2)	9.7	*(7.5)	15.5	13.1	4.9	14.0	11.0	5.2	*(1.7)	南1	A	底部突起一部欠損
S26	11	20.1	10.7	9.4	16.1	13.6	5.0	15.5	12.1	5.0	3.2	南1	A	空輪約1/3欠損
S27	19	18.9	10.1	8.8	13.6	12.5	6.3	14.2	12.6	5.7	2.0	南1	A	所々欠損
S28	20	*(14.6)	9.0	5.6	14.5	12.0	4.9	13.5	10.0	*(5.0)	*(1.2)	南1	A	底部突起など欠損
S29	25	*(15.1)	9.0	*(6.1)	16.0	13.7	5.0	15.4	12.3			南1	A	底部突起欠損
S30	30	21.6	11.0	10.6	16.2	12.8	5.8	16.2	12.5	6.2	3.8	南1	A	空輪一部欠損
S31	31	*(19.6)	11.5	*(8.1)	16.7	14.1	5.5	16.0	12.5	5.1	*(2.1)	南1	A	底部突起一部欠損
S32	36	19.8	9.6	10.2	15.0	12.8	6.0	15.3	12.3	5.3	3.4	南1	A	ほぼ完形
S33	41	20.7	10.6	10.1	15.5	13.8	6.0	14.2	11.5	5.5	3.2	南1	A	空輪一部欠損
S34	42	*(17.2)	*(10.2)	7.0	*(14.5)	12.8	6.0			6.2	3.5	南1	A	縦に1/2欠損
S35	52	*(17.6)	10.0	7.6	16.5	13.5	5.5	16.3	12.5	4.4	*(1.5)	南1	A	風輪・底部突起欠損
S36	67	17.0	6.9	10.1	13.8	12.5	6.3	13.2	10.3	6.3	3.1	南1	A	空輪1/6欠損
S37	80			6.1			5.3		10.3	5.5	3.2	南1	A	風輪1/6残
S38	106	*(14.8)			*(16.0)	14.8	7.2	16.3	13.2			東2	A	空輪・底部突起欠損、 風輪1/3残
S39	113	17.3	8.9	8.4	14.4	12.2	5.5	14.5	10.3	5.3	2.5	東2	A	完形
S40	114	18.6	10.3	8.3	14.5	11.7	4.9	14.0	11.5	5.5	2.5	東2	A	完形
S41	127		*(9.0)		*(14.0)							南1	A	空輪のみ1/6残
S42	135		8.7			*(12.5)	*(4.5)					南1	A	空輪1/4残、残存状況 不良
S43	203	*(17.7)	11.0		14.9	11.6	5.5	13.8	11.5	5.7	*(1.0)	東1	A	底部突起欠損
S44	206	*(22.2)	14.4		16.6	14.2	7.0	15.3				東1	A	空輪宝珠形、底部突起 含めて風輪1/3欠損
S45	207		*(9.2)		*(13.1)	*(11.3)	4.5	11.7	10.7	5.6		東1	A	縦に2/3欠損
S46	208	*(16.9)	10.2		16.0	13.8	5.6	15.6	12.0			東1	A	底部突起ほか欠損多 い
S47	2-6	*(15.2)		9.5	*(12.4)	10.9	5.7	13.6	11.2	4.6	3.7	南2	A	用地外

空風輪計27点

火輪

掲載 番号	調査 時番 号	a	b	c	e	g	h	i	j	k	l	出土 地点	石材	備考
S12	209	12.9	5.6	7.3	9.0	4.5	10.0	5.7	19.2	19.1	3.9	東1	A	
S16	38	12.7	8.1	4.6	6.5	4.0	9.8	5.8	20.2	20.0	6.2	南1	A	
S19	7	16.4	8.5	7.7	10.7	4.6	13.7	8.0	26.1	24.5	5.7	南1	B	
S48	8	14.3	8.2	6.1	8.3	4.5	11.8	6.2	22.0	22.2	6.0	南1	A	1隅大きく欠損
S49	12	12.4	7.2	5.2	5.5	4.8	11.2	6.2	21.1	20.0	6.9	南1	A	側面1/6欠損、上部穿孔方形
S50	13	14.5	8.5	6.0	8.2	6.0	12.3	6.5	22.7	21.5	6.3	南1	A	上部穿孔方形
S51	23	13.3	8.9	4.4	5.5	5.5	11.3	6.0	20.5	20.3	7.8	南1	A	側面欠損
S52	24	12.3	6.3	6.0	7.7	4.0	11.5	6.0	21.7	21.3	4.6	南1	A	ゆがみ大きい
S53	33	12.1	7.7	4.4	6.7	3.9	9.5	5.5	18.8	18.5	5.4	南1	A	
S54	34	11.6	7.3	4.3	7.1	4.1	13.0	5.5	20.5	20.0	4.5	南1	A	全体にいびつ、高さがそろっていない
S55	40	13.8	8.7	5.1	7.2	5.7	11.7	6.0	22.3	21.5	6.6	南1	A	上部穿孔方形
S56	48	13.1	8.1	5.0	6.0	3.9	9.0	6.0	20.1	19.5	7.1	南1	A	1隅1/5欠損
S57	53	15.3	9.8	5.5	6.5	4.9	12.5	6.3	21.4	18.0	8.8	南1	A	底辺・1隅欠損、上部穿孔方形
S58	59	13.5	9.0	4.5	6.4	4.2	10.8	6.0	19.7	20.0	7.1	南1	A	1隅欠損
S59	66	11.5	6.2	5.3	5.3	3.4	10.5	5.7	19.8	19.0	6.2	南1	A	全面風化している
S60	72	12.8	8.5	4.3	5.5	4.0	9.5	6.0	19.6	19.2	7.3	南1	A	上部欠損
S61	81					*(3.3)	*(12.0)	5.0				南1	A	上部のみ1/4残
S62	82	*(11.5)	*(7.4)	4.6	*(7.0)				*(20.6)	19.3		南1	A	上部・側面欠損
S63	105	13.1	4.9	8.2	6.3	*(3.3)	*(11.7)	*(5.5)	*(20.2)	19.4	6.8	東2	A	側面1/4欠損、上部穿孔円形
S64	107	14.2	8.6	5.6	7.0	5.2	11.1	6.1	19.2	18.2	7.2	東2	A	ほぼ完形、上部穿孔円形
S65	108	12.0	7.2	4.8	6.3	3.6	10.7	4.6	19.9	19.5	5.7	東2	A	2側面一部欠損、上部穿孔円形
S66	110	11.4	7.4	4.0	5.0	4.1	10.3	6.5	19.6	18.0	6.4	東2	A	1隅欠損、上部穿孔円形
S67	112	13.5	7.5	6.0	6.8	5.0	10.7	*(5.0)	22.0	21.3	6.7	東2	A	1隅2/5欠損、上部穿孔円形
S68	117	*(11.0)	*(6.8)	*(4.2)	*(5.2)	*(3.2)	*(11.0)	5.0	20.4	19.5	*(5.8)	東2	A	1隅欠損、風化はげしい、上部穿孔円形
S69	121	11.5	6.3	5.2	*(6.0)	3.5	10.2	5.2	20.7	20.0	*(5.5)	東2	A	ほぼ完形、風化はげしい
S70	124	13.4	9.2	4.2	4.8	4.0	10.3	6.1	18.7	17.0	8.6	南1	A	上部1部欠損、残存状態良好、上部穿孔円形
S71	126	15.2	9.0	6.2	7.5	5.6	12.2	6.5	20.4	19.5	7.7	南1	A	ほぼ完形、上部穿孔方形
S72	130			4.4	*(5.0)				22.3	21.9		南1	A	上部欠損
S73	139	12.6	6.8	5.8	7.0	4.9	9.9	5.9	19.9	19.4	5.6	南1	A	1隅欠損
S74	140	17.2	9.2	8.0	9.7	7.1	13.2	7.8	25.2	24.8	7.5	南1	A	ほぼ完形
S75	204	13.9	9.4	4.5	7.0	4.6	11.9	6.4	21.1	21.0	6.9	東1	A	ほぼ完形
S76	0-2	15.4	10.0	5.4	7.8	5.2	11.0	7.0	22.7	22.5	7.6	南1	A	底面くりぬきあり
S77	3-4	14.0	9.3	3.7	5.5	5.9	12.8	5.6	24.0	*(23.5)	8.5	南3	A	用地外、2辺欠損、上部穿孔円形
S78	3-8	13.5	7.8	5.7	8.0	5.0	11.5	6.5	19.8	19.5	5.5	南3	A	用地外、縦の線刻
S79	3-3	12.2	7.7	4.5	6.3	5.3	10.2	5.3	18.3	18.0	5.9	南3	A	用地外、縦の線刻、1辺欠損、上部穿孔円形
S80	2-8	13.2	9.2	4.0	4.7	7.3	13.5	8.5	21.7	19.7	8.5	南2	A	用地外

火輪計36点

水輪

掲載番号	調査時番号	a	b	c	d	e	出土地点	石材	備考
S13	202	13.1	7.0	21.0	16.7	15.5	東1	A	側面一部欠損
S17	21	12.5	6.1	16.7	12.6	13.5	南1	A	
S20	43	18.5	11.5	26.3	14.2	15.2	南1	B	
S81	2	*(19.0)	7.5	20.4	*(16.4)	16.3	南1	A	1/2残、上面一部欠
S82	27	12.2	6.2	17.2	13.0	12.5	南1	A	上部1/6欠、そろばん玉形
S83	28	14.1	7.1	21.2	16.5	17.3	南1	A	
S84	37	11.9	6.6	19.7	16.0	16.0	南1	A	2/3残
S85	45	14.5	7.5	19.5	13.3	11.7	南1	A	
S86	46	13.9	7.2	20.5	15.0	14.5	南1	A	
S87	58	14.3	7.0	20.9	16.6	15.5	南1	A	
S88	63	12.7	6.5	18.2		12.5	南1	A	1/2残、側面欠損あり
S89	69	14.4	7.5	18.5		12.0	南1	A	上面1/3欠
S90	71	15.3	8.3	20.2		14.7	南1	A	1/2残
S91	73	*(15.5)	9.0				南1	A	1/4残
S92	74	*(9.9)	6.0				南1	A	1/6残、直径復元できず
S93	101	14.1	6.5	20.6	16.0	15.5	東2	A	完形
S94	102	10.0	4.5	16.4	*(13.5)	13.2	東2	A	完形、天井が凸で丸い
S95	103	13.9	7.0	19.2	14.5	14.3	東2	A	側面一部欠損
S96	104	14.3	6.5	20.1	*(15.4)	*(15.0)	東2	A	上下欠損
S97	111	14.2	7.5	19.4	14.9	14.3	東2	A	完形
S98	123					*(14.0)	東2	A	1/8残
S99	129	12.1	6.0	18.2	12.3	12.7	南1	A	ごく僅か欠損
S100	133						南1	A	1/10未満、計測不能
S101	141	*(14.5)	*(7.5)			*(13.8)	南1	A	1/6残
S102	142	*(15.7)	*(8.0)	*(19.5)		*(13.2)	南1	A	1/3残だが形状不明
S103	200						東1	A	1/8未満、計測不能
S104	201	12.5	6.5	*(17.5)	*(14.0)	13.2	東1	A	側面1/4欠損
S105	3-5	15.5	7.8	21.2	16.2	16.3	南3	A	用地外、一部欠損
S106	3-6	14.4	7.7	21.2		16.1	南3	A	用地外、上部欠損
S107	3-7	14.3	7.4	19.8	14.0	15.2	南3	A	用地外、上面楕円形
S108	3-9	15.0	7.0	21.0	15.0	16.0	南3	A	用地外、完形

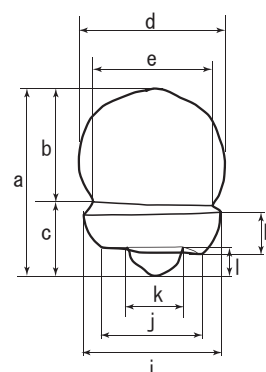
水輪計31点

地輪

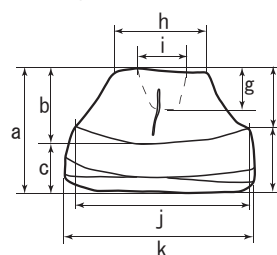
掲載番号	調査時 番号	a	b	c	出土地点	石材	備考
S14	205	13.1	22.8	23.2	東1	A	
S18	75	13.8	20.8	20.8	南1	A	
S21	16	16.3	26.0	25.5	南1	B	
S109	4	13.3	22.9	23.0	南1	A	
S110	5	12.6	20.9	20.4	南1	A	
S111	10	13.4	20.5	20.3	南1	A	
S112	14	13.3	23.3	23.1	南1	A	
S113	15	13.4	20.6	20.6	南1	A	
S114	17	16.0	24.3	23.1	南1	A	
S115	18	*(9.4)	20.8	19.1	南1	A	4片に分割
S116	26	10.2	19.1	19.2	南1	A	
S117	29	*(9.7)	20.0		南1	A	破片
S118	39	15.5	21.6	22.2	南1	A	
S119	44	11.3	22.6	22.9	南1	A	
S120	47	12.7	19.5	19.9	南1	A	
S121	49	13.5	21.0	21.0	南1	A	
S122	50	14.4	20.5	19.8	南1	A	
S123	51	*(9.9)	17.9	18.3	南1	A	
S124	54	12.6	20.2	19.8	南1	A	
S125	55	14.0	21.0	21.0	南1	A	
S126	56	13.4	20.9	19.8	南1	A	
S127	57	12.8	20.5	21.0	南1	A	
S128	60	11.0	19.5	21.0	南1	A	
S129	61	13.2	22.8	21.5	南1	A	
S130	64	11.2	21.0	20.4	南1	A	
S131	65	11.8	20.5	19.6	南1	A	
S132	68	*(9.9)	20.0		南1	A	破片
S133	70	11.6	19.8	21.1	南1	A	
S134	76	12.9	19.7	20.2	南1	A	
S135	77	14.3	20.9	19.5	南1	A	
S136	78	13.8	20.7	21.0	南1	A	
S137	79	13.5	21.5	20.5	南1	A	
S138	79	13.2	23.1	21.2	南1	A	
S139	100	14.4	20.5	20.5	東2	A	完形、上面が荒い
S140	109	*(11.0)	22.5	21.6	東2	A	上部欠損
S141	115	12.7	20.5	21.4	東2	A	上下一部欠
S142	116	*(9.5)	20.3	20.0	東2	A	上面一部欠
S143	120	12.7	20.5	20.7	東2	A	
S144	122		*(19.9)	*(20.0)	東2	A	欠損多い
S145	128	12.8	21.1	20.1	南1	A	
S146	132	14.4	20.6	21.0	南1	A	下面凹部あり
S147	134	13.2	22.1	21.1	南1	A	上面一部欠
S148	138	12.8	20.8	21.0	南1	A	風化著しい
S149	138	13.1	22.1	21.4	南1	A	上面・側面剥落
S150	210	15.5	23.4	23.7	東1	A	1隅欠損
S151	211	12.1	20.9	20.2	東1	A	下面凹部あり

部位別計測位置

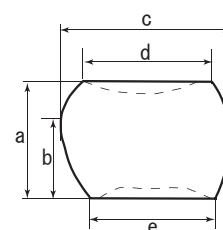
空風輪



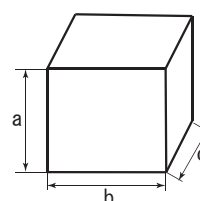
火輪



水輪



地輪



地輪計46点